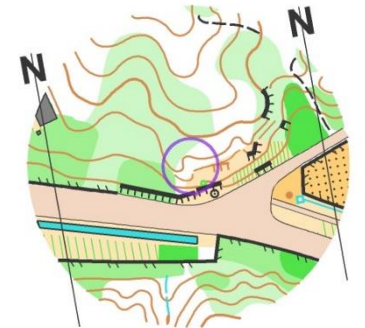
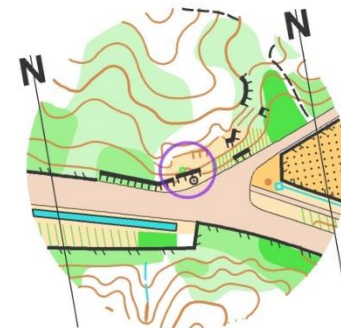
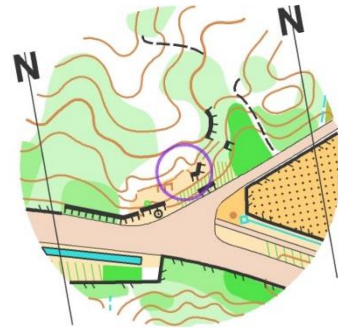
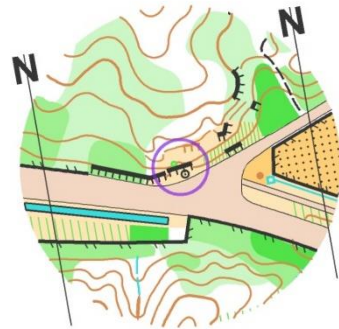
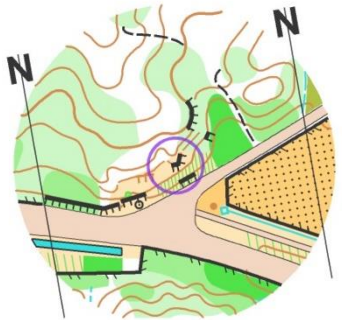
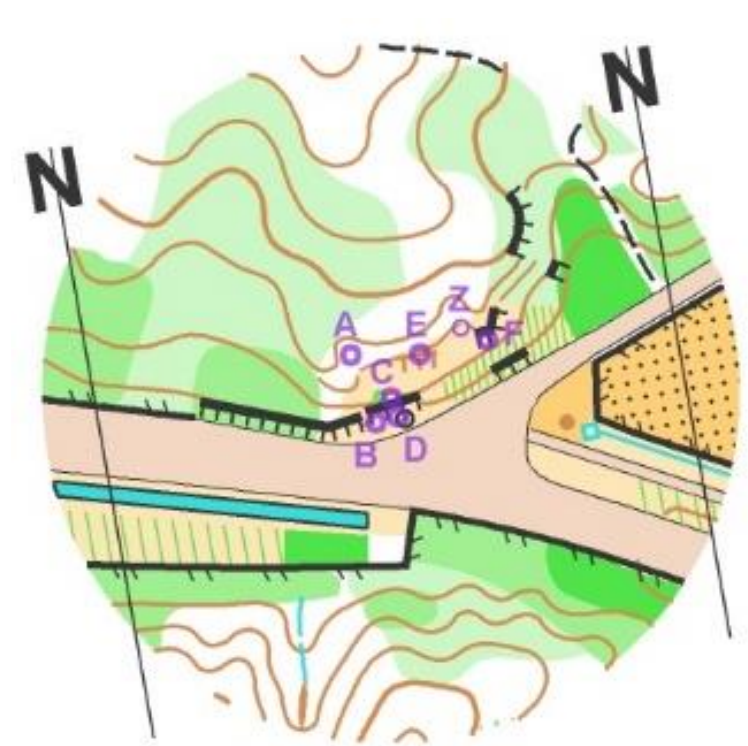


# Station1

特徴物が多いですが、フラッグの置き方は分かりやすくしています。斜面の崖とヤブを対応させれば答えられるでしょう。



1:F



2:D



3:Z



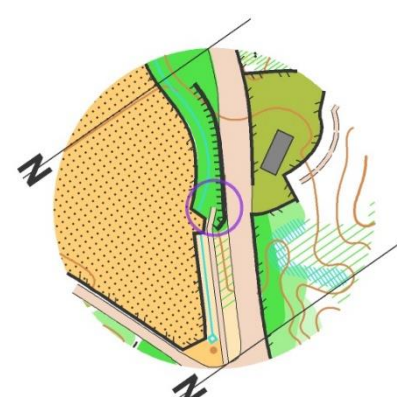
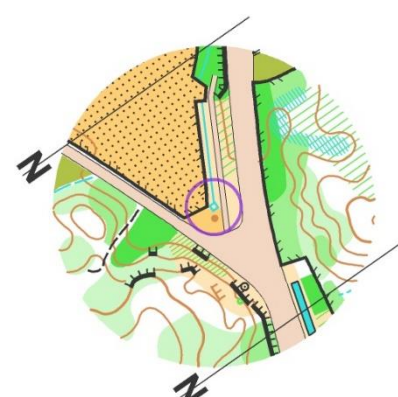
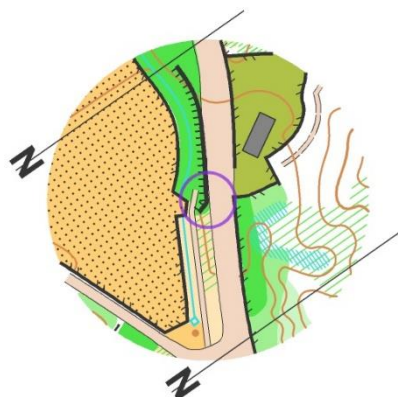
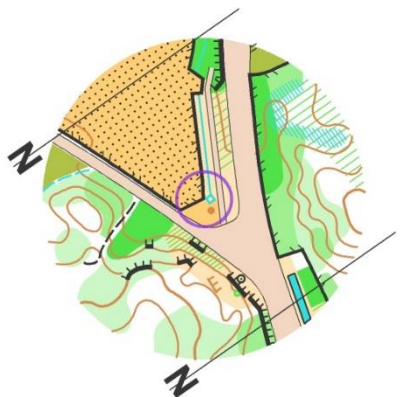
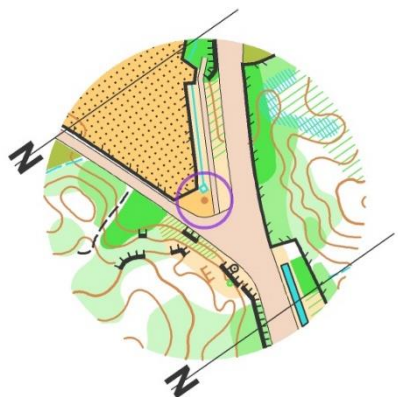
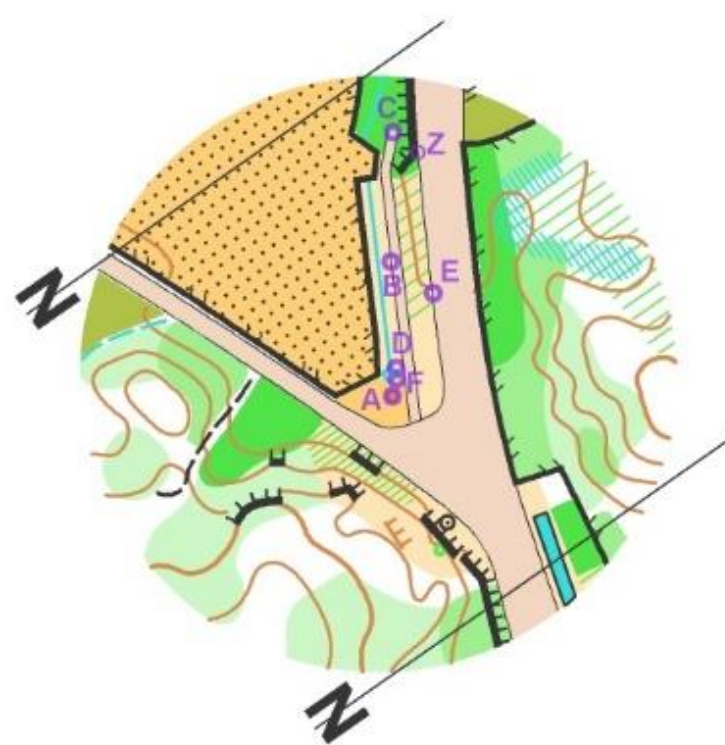
4:C



5:A

# Station2

遠いフラッグもありますが、道や水路の対応そのものは難しくありません。4-Dは画面向かって右奥が南となる点に注意が必要です。



1:A



2:Z



3:Z



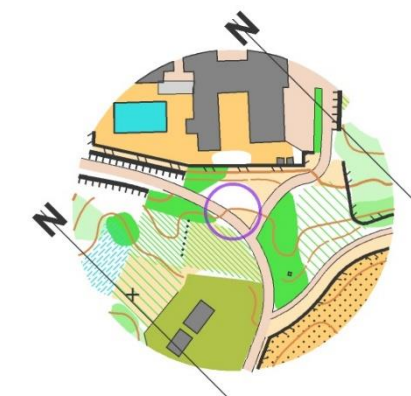
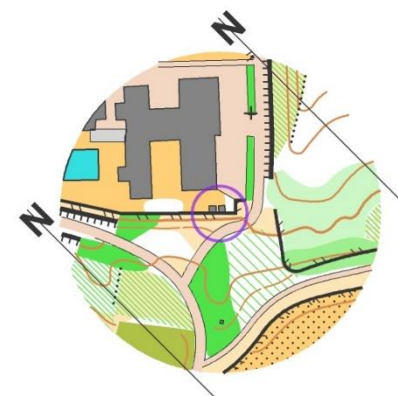
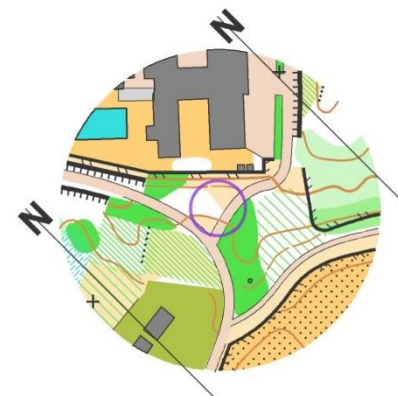
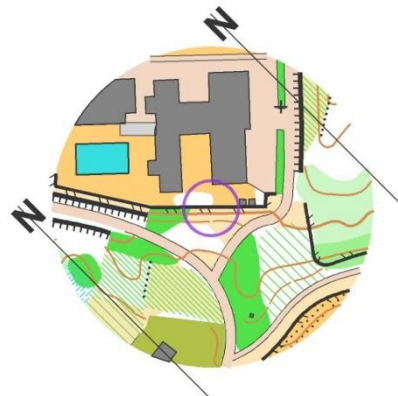
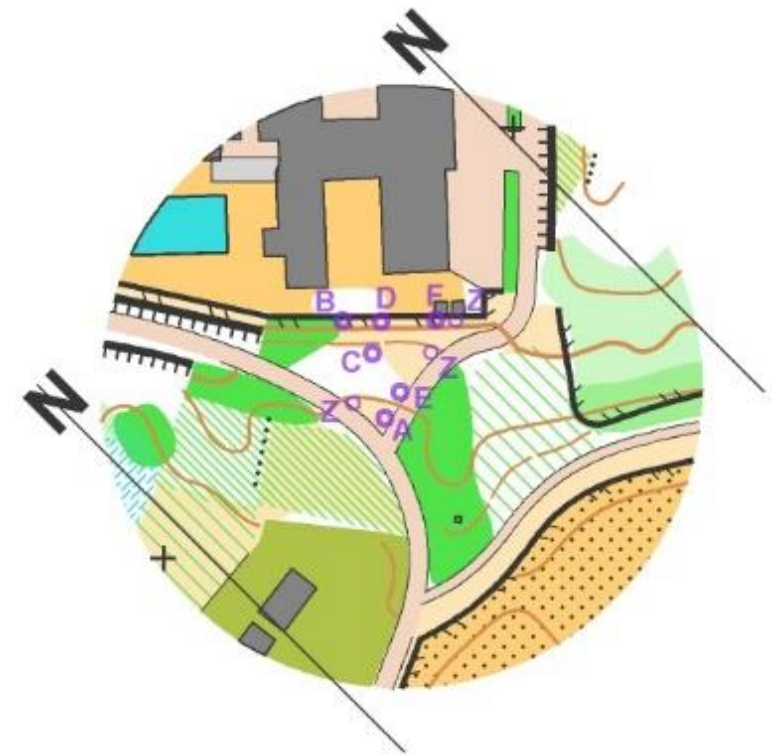
4:D



5:C

# Station3

植生、等高線、柵の奥の建物とみるべきものが多いので、慎重に答えたいステーションです。手前の林の形を読み切るとぐっと完答に近づきます。



1:D

2:Z

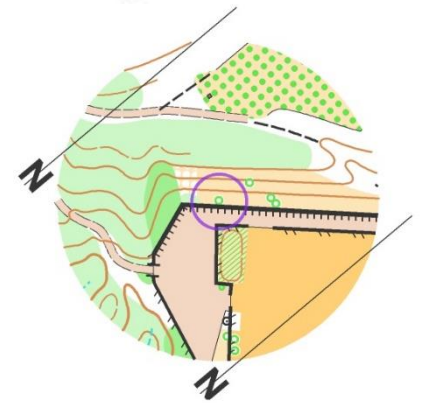
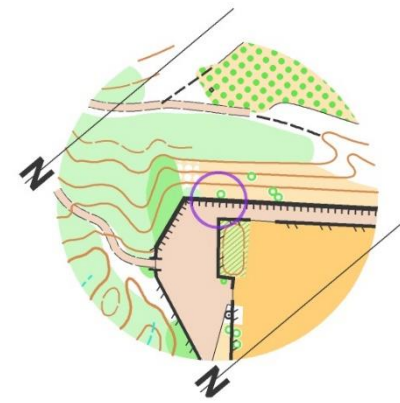
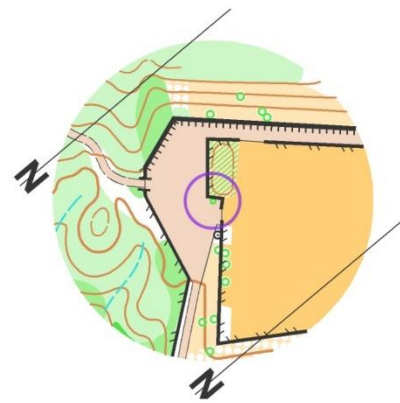
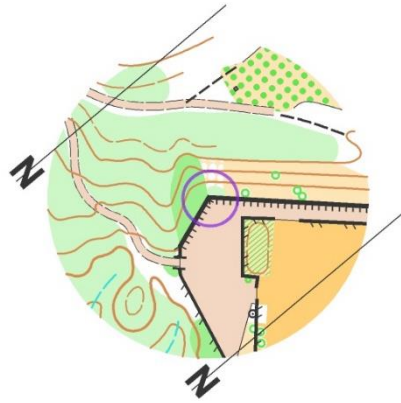
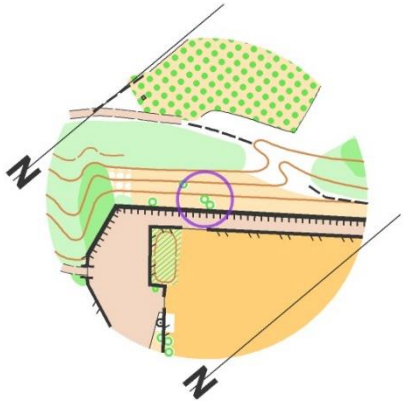
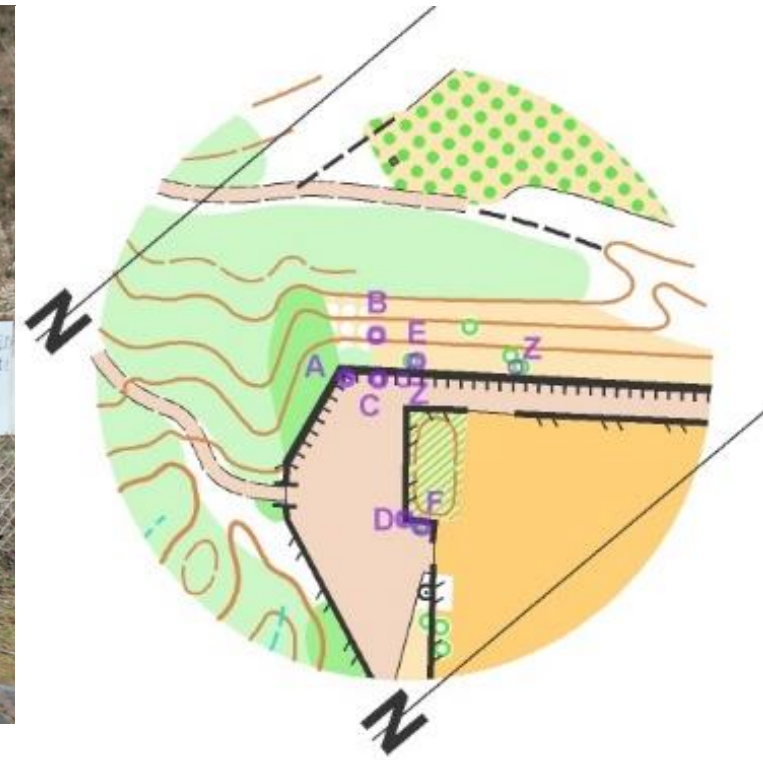
3:E

4:Z

5:Z

# Station 4

特徴物の対応そのものは難しくありませんが、方位を誤ると思わぬ失点につながります。また、岩崖は既定の位置が根元なので部分とした場合も下になります。



1:Z



2:A



3:F



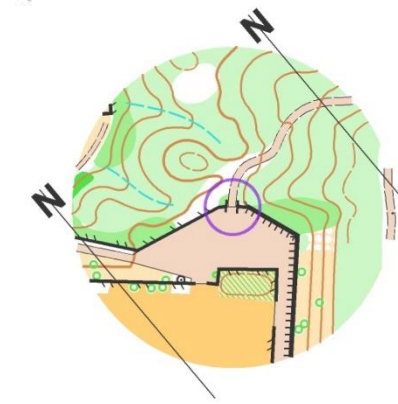
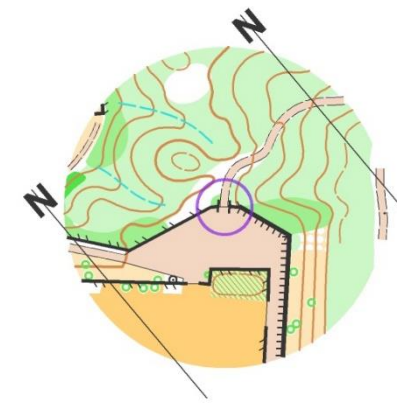
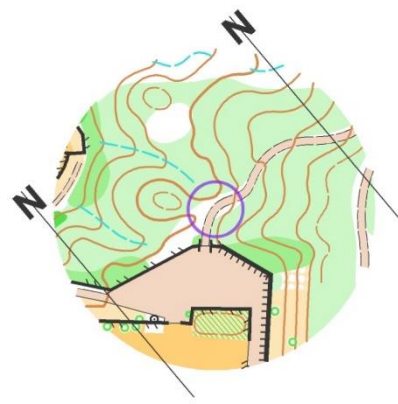
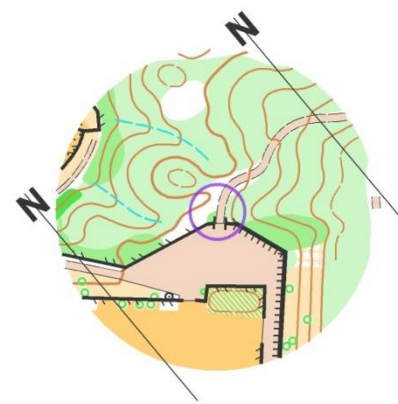
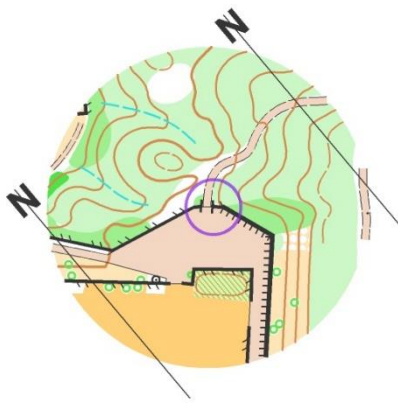
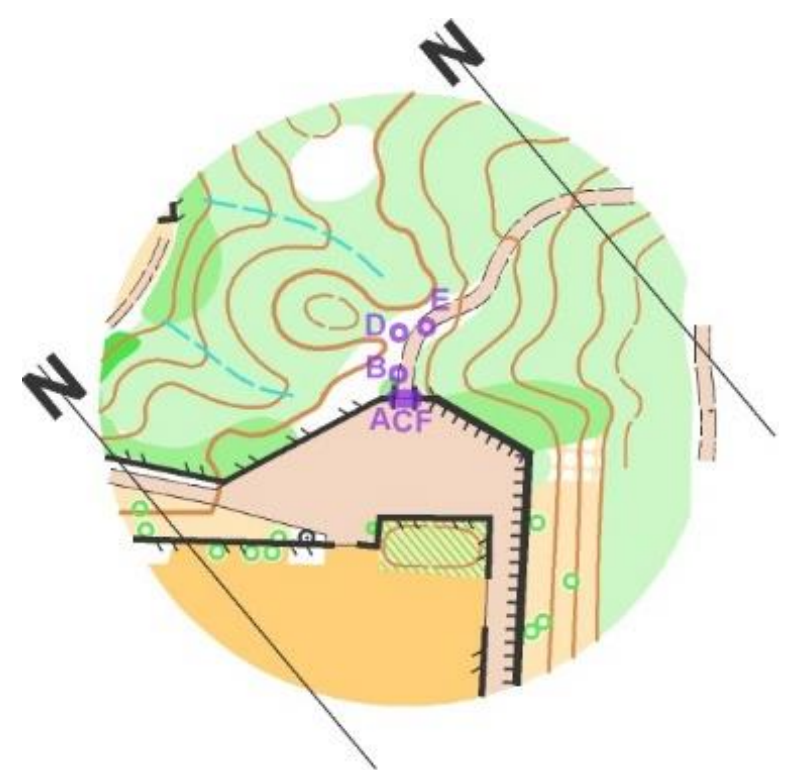
4:Z



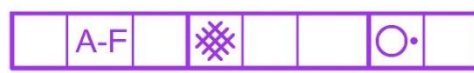
5:E

# Station5

ここを通った方も多いでしょう。柵の通過点が実寸表記でないことに気を付ければあとは簡単です。実寸表記されない点状特徴物の部分が問われるのは稀ですが、実際の大きさがある程度あれば不可能ではありません。



1:F



2:B



3:E



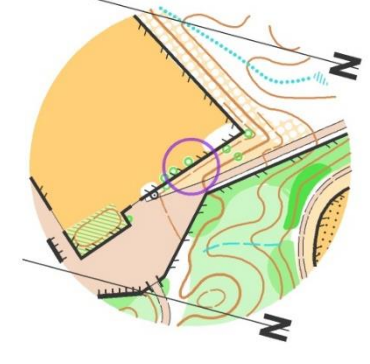
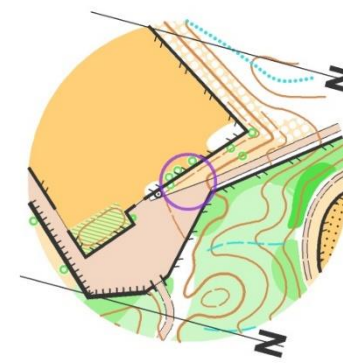
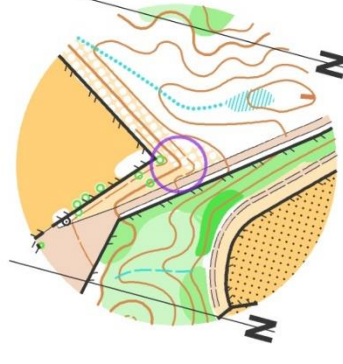
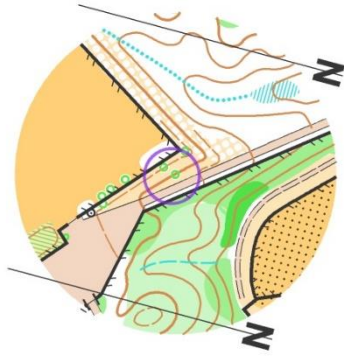
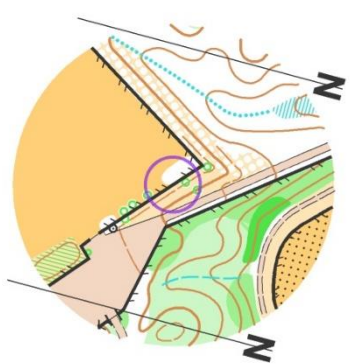
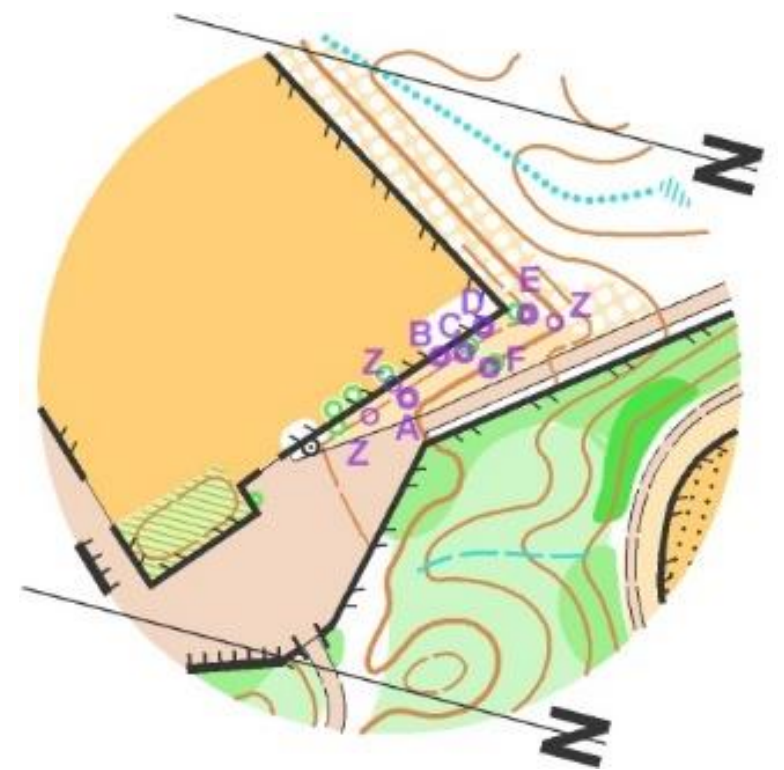
4:F



5:A

# Station6

独立樹と林の特定が求められるステーションです。4-Zは本コースでも難問の想定ですが、画面左端の独立樹を対応させられれば、円の中心はさらに左の視界外だと分かります。



1:B



2:F



3:Z



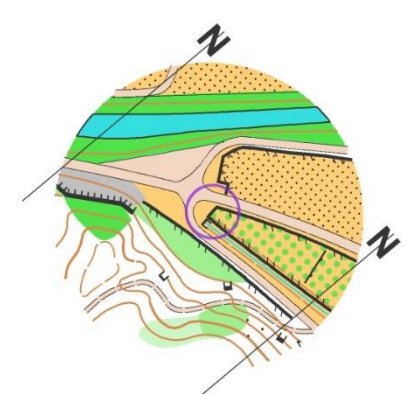
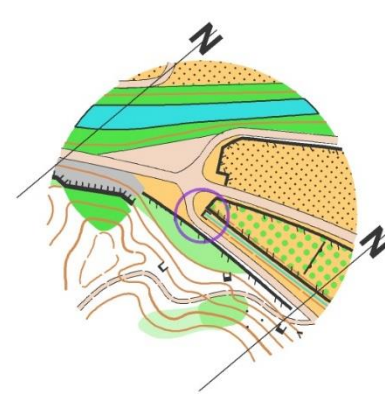
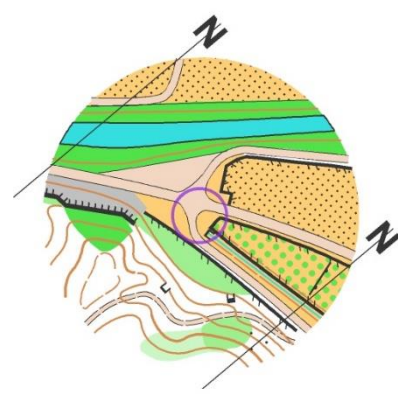
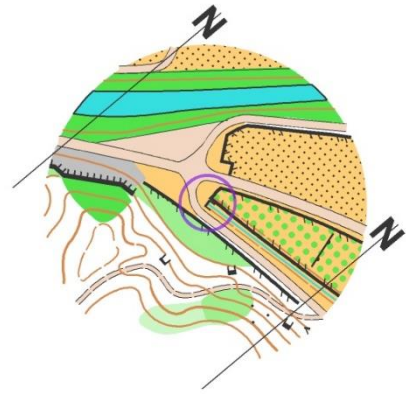
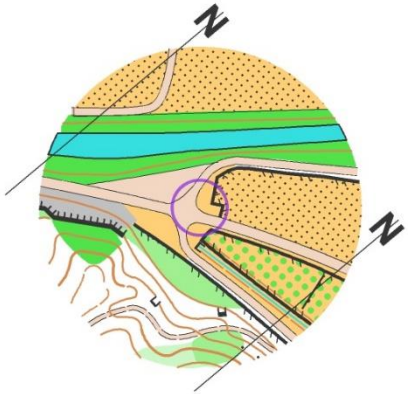
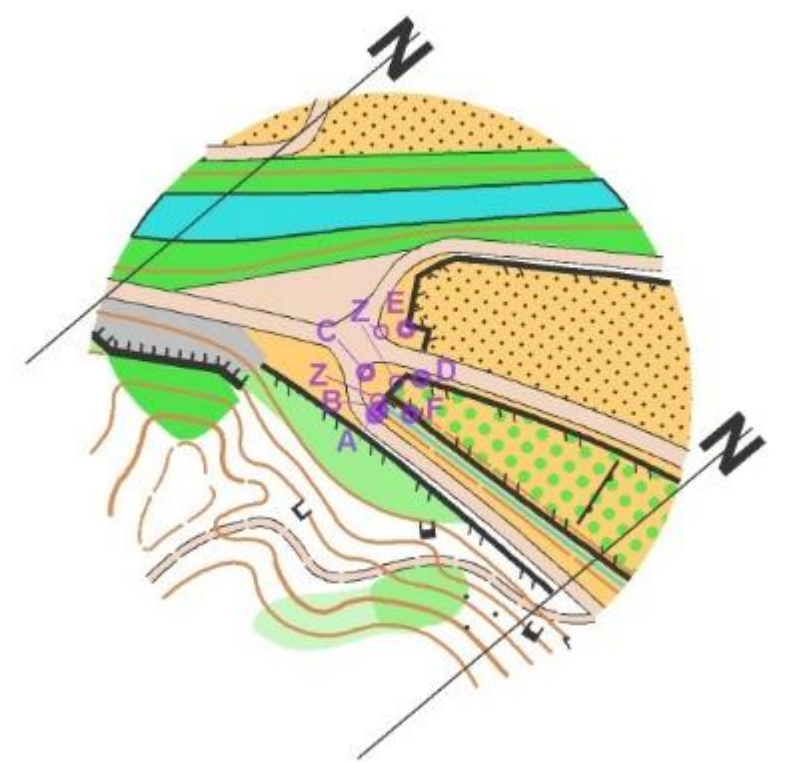
4:Z



5:Z

# Station 7

Eフラッグがやや見にくいですが、他は難しくありません。計時されるステーションですので、時間をかけずに答えられるかも上位進出への鍵となります。



1:Z



2:Z



3:C



4:B



5:Z